

自公維新 国民民主 大軍拡の翼賛政治 変えよう

平和でも、くらしでも、希望ある日本に。

岸田政権がすすめる軍事費2倍の大軍拡。この軍拡は日本を守るためのものではなく、アメリカが海外で戦争をするさいに自衛隊が参加できるようにするためのものです。国際法違反の先制攻撃に加担し、そのために日本や福岡が報復を受けるおそれがあるもの。防衛大臣も「大規模な被害」を認めています。しかも、暮らしを押しつぶす増税や社会保障の切りすてをまねく大問題です。

この危険な軍拡に、キッパリ反対しているのは日本共産党だけです。日本共産党をのばして、自民・公明・維新などの「軍拡」賛成派に審判をくだしましょう。

福岡県議選
3月31日告示
4月9日投票

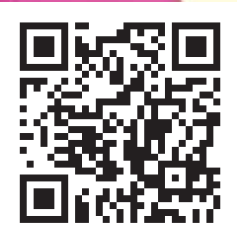
山口りつ子プロフィール / 1949年生まれ
山口大学卒 ● 高稜高校教員を経て、福岡県議会議員(2期)
● 現在、党若松地区副委員長。

大軍拡・増税
許さない



県議予定候補 (若松区)

山口りつ子



日本共産党

私を県政におくってください

「報復の危険」

築城基地にも配備されているF2戦闘機に長射程ミサイル搭載

岸田政権は、航空自衛隊築城基地をはじめ全国に配備されているF2戦闘機にも長距離ミサイルを搭載する計画をすすめるなど、多種多様な長距離ミサイルの導入・配備を狙っています。安保法制のもとで、米国が戦争を始めれば、日本は武力攻撃を受けていないのに、自衛隊は米軍と一体となって敵基地攻撃に乗り出すことになります。そうなれば、日本が報復を受けることになりかねません。

「敵基地攻撃能力」に保守からも批判

衆院議長や外相を歴任した河野洋平氏は「(安保3文書は)戦後日本の国柄を変えるほどの重大な政策転換なのに、国民にはかったことは一度もない」と、共同通信のインタビューで指摘しています。河野氏は「(敵基地攻撃能力の保有は)外国の領土・領海の中で武器を使用し、破壊を試みるものだ。憲法の本質や専守防衛と相いれない」と強調しています。

日本共産党がいるといないとでは大違い

それはいかん オール与党の県議会 自公維新 国民民主

若松区の県議は

知事の提案に 「なんでも賛成」

日本共産党は3500億円の「下関北九州道路」などムダづかいをきちんとチェック

いまの知事になってから、自民党、緑友会(農政連推薦議員など含む)公明党、民主県政クラブ(立憲、社民など)は、予算案、議案に「100%なんでも賛成」です。日本共産党は313本中27本に反対(2021年6月~2022年12月議会)、いいものはいい、悪いものは悪いとしっかりチェックします。

会派	氏名	知事提案に賛成	反対
日本共産党県議団の2人は		286	27
自民党	中尾 正幸	313	0
民主県政	山本 耕一	313	0

※2021年6月~2022年12月議会
※民主県政は立憲民主、社民などを含む
※日本共産党の2人は高瀬菜穂子(小倉南区)、立川由美(福岡市東区)。

県議会は 岸田政権 いいなり

福岡県議会は、感染症対策で重要な役割を持つ保健所や県立病院の削減に賛成。その結果、コロナ禍で医療のひっ迫を招きました。知事は、基地や原発について質問しても「国の専管事項」「国において適切に判断される」と述べるにとどまり、県民の思いにこたえません。



この20年で...

保健所	21	▶	9	(政令市を含む県内全体では36ヶ所から18ヶ所)
県立病院	5	▶	1	(公設民営)
許可病床	4000	減	さらに 3000	減らす

自・公・民主県政は賛成

4月9日福岡県議会議員選挙

あなたの願いを
日本共産党に託してください

山口りつ子

日本共産党

県議予定候補(若松区)



私を県政におくり、
とりくませてください！

物価高騰からくらしを守る緊急提案

子育て応援 3つの0^{ゼロ}



学校給食費を 0^{ゼロ}

子どもの医療費 0^{ゼロ}

子どもの分の国保料 0^{ゼロ}

県民アンケートでは、「物価高騰で子育てが大変」との声が寄せられています。子どもの医療費助成を拡充し完全に無償化する、国保料の均等割について子どもの分をゼロにするなど、子育て応援施策をさらに前進させます。子育て応援「3つのゼロ」は、県の予算の1%を組み換えれば実現できます。

高齢者に2つの安心

高齢者乗車券制度を創設・拡充させます

バス路線の撤退が相次ぎ、生活の足がなくなっています。コミュニティバスへの助成を増やすなど、移動の権利を守ります。福岡市では、高齢者乗車券を交付し、バス・電車・タクシーなどへ年1万2千円補助しています。こうしたとりくみを県全体へ広げます。

加齢性難聴の補聴器購入助成制度をつくります

国の補聴器支援制度は、聴力が70デシベル以上の重度・高度の障害を持つ方に限られています。聞こえを良くする補聴器は社会参加の必需品。認知症の防止にも有効であることがわかっています。欧州諸国は難聴を医療の対象として手厚い公的補助をしています。

暮らしを守る政治を今こそ

- 中小企業支援し最低賃金時給1500円へ
- 消費税を5%に減税
- 国保料・介護保険料引き下げ
- 大学や専門学校を半減
- 財源は富裕層・大企業への応分の負担で



若松区から平和の議席を
山口りつ子さんに期待します

私の恩師である山口先生は、農業をしている私にとって、ほんとうに力強い相談相手です。災害の時に、ビニールハウスの相談にのってくれたり、カラスが増えて被害が広がるなか、カラス対策で頑張ってくれました。住民の声を聞き、すぐ行動する山口先生、県政に戻って活躍してください。

久保田 春彦

実績
バツグン

日本共産党
福岡県議団

学校の先生増やす

福岡県議会に日本共産党の議席がなかった2014年、県の非正規教員率は全国ワースト2位でした。日本共産党は正規の教員を増やして少人数学級とするよう何度も県に求めました。2015年は県立高校を含めて791人(政令市除く)だった教員採用数は、現在約1200人となっています。

子どもの
医療費助成拡充

県が行う子どもの医療費助成は、住民の要求と結んだ県議団・地方議員団の努力で、2021年度からは中学3年生まで拡充しました。県の助成対象が広がったこともあり、自治体が行う18歳までの助成制度は、入院で12自治体、通院で9自治体に広がっています(2022年12月時点)

コロナから命まもる

コロナ病床大幅増

当初、県はコロナ病床を760床としたものの、300~400床にとどまっていた。日本共産党は、その引き上げを求め、コロナ病床は2000床(2022年9月現在)へと大幅に増やしました。

PCR無料検査実現

県は、PCR検査について、国と同様に受けられる人を限定しました。日本共産党は、面的な検査や社会的な検査を再三求め続け、無料検査が実現しています。